

大学番号：015

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

事前伺い

茨城大学大学院 農学研究科 農学専攻
注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 カチヨウホサ ハセガワ シンゴ
課長補佐 長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

農学研究科

<農学専攻>

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学大学院

(3) 大学の位置

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 [〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(クルス ヤスロウ) 久留主 泰朗 (平成26年4月)	(トシマ ヒロアキ) 戸嶋 浩明 (平成30年4月)	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)
学科長等	(ミヤグチ ユウジ) 宮口 右二 (平成29年4月)	(モウリ ヨシユキ) 毛利 栄征 (平成30年4月)	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
農学研究科 農学専攻 修士(農学)	農学関係	2年	48人	96人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	48人 (-) [-]	人	48人 (-) [-]	人	人	人	(-) [-]		0.88倍	
志願者数	44人 (-) [5人]	12人 (-) [11人]	42人 (-) [3人]	(-) [-]	() []	() []				
受験者数	39人 (-) [5人]	11人 (-) [10人]	41人 (-) [3人]	(-) [-]	() []	() []				
合格者数	39人 (-) [5人]	11人 (-) [10人]	41人 (-) [3人]	(-) [-]	() []	() []				
B 入学者数	36人 (-) [5人]	11人 (-) [10人]	38人 (-) [3人]	(-) [-]	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	0.97		0.79							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	36 [5] (-)	11 [10] (-)	38 [3] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		34 [5] (-)	11 [10] (-)			
3年次			/				[] ()
計	47 [15] (-)				83 [18] (-)		[] ()

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	45人	2人	平成29年度	2人	0人	・就職のため ・進路変更のため
平成30年度	38人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	83人	2人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{45} = \boxed{4.44} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学研究科 農学専攻>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話	1前		2								兼1
	国際コミュニケーション基礎	1前		2								兼1
	実践国際コミュニケーション	1前		2								兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前		1								兼2
	地球環境システム論Ⅱ	1後		1								兼1
	持続社会システム論Ⅰ	1後		1								兼1
	持続社会システム論Ⅱ	1前		1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1		1	1					兼2
	人間システム基礎論Ⅰ	1後		1								兼2
	人間システム基礎論Ⅱ	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1		1						
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1		3						
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼1
	バイオテクノロジーと社会	1後		1		1						兼2
科学と倫理	1前		2								兼1	
原子科学と倫理	1後		1								兼6	
共通科目(研究科)	アジア農業論	1前	1				1					兼1
	科学リテラシー	1前	1			1	1					
	英語表現技法	1後	1									兼1
専攻科目(専攻展開科目)	統計学	1後		1		1	1					
	キャパシティ・ディベロップメント論	1後		1								兼1
	農業技術普及論	1後		1			1					
	熱帯農業フィールド実習	1後		1		1						兼1
	地域サステナビリティ演習	1後		1		1						兼1
	国内フィールド実習	1後		1		1	3					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	学術英会話Ⅰ	1前		2									兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		2									兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		2									兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前		1									兼2
	地球環境システム論Ⅱ	1後		1									兼2
	持続社会システム論Ⅰ	1後		1				1					兼3
	持続社会システム論Ⅱ	1前		1									兼2
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1		1	1						兼2
	人間システム基礎論Ⅰ	1後		1									兼4
	人間システム基礎論Ⅱ	1前		1									兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1		1		2	3				
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1		1		2					兼1
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2									兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1		1							兼3
科学と倫理	1前		2									兼1	
原子科学と倫理	1前		1									兼5	
共通科目(研究科)	アジア農業論	1前 1後	1				2	1					
	科学リテラシー	1前 1後	1				6	4					
	英語表現技法	1後	1										兼1
専攻科目(専攻展開科目)	統計学	1前		1		1	1						
	キャパシティ・ディベロップメント論	1後		1									兼1
	農業技術普及論	1後		1			1						
	熱帯農業フィールド実習	1後		1		1		2					
	地域サステナビリティ演習	1後		1		1		2	1				
	国内フィールド実習	1後		1		1		2	2				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（アジア展開農学コース専門科目）	Advanced Crop Science	1前	1			1	1					
	Advanced Horticultural Science	1前	1			1						
	Advanced Plant Breeding	1前	1			1						
	Advanced Bioregulation Chemistry	1後	1			1						
	Advanced Plant Protection	1後	1				2					
	Advanced Animal Breeding	1後	1			1			1			
	Advanced Animal Nutrition	1前	1				2					
	Advanced Animal Management	1後	1			1	1					
	Advanced Animal Hygiene	1前	1			1	1					
	Advanced Animal Functional Anatomy	1後	1			1						
	Advanced Animal Cell Engineering	1後	1				1					
	Advanced Plant Biochemistry	1後	1			1	1					
	Advanced Microbiology	1後	1			2						
	Advanced Chemical Ecology	1前	1			1						
	Advanced Microbial Ecology	1前	1			1	1					
	Advanced Natural Product Chemistry	1後	1			1						
	Advanced Food Biochemistry	1後	1			2						
	Advanced Food Processing	1前	1			1	1					
	Advanced Food Functionality	1前	1			1						
	Advanced Biochemistry	1前	1				1					
	Advanced Biotechnology	1前	1									兼1
	Advanced Soil and Geotechnical Engineering	1前	1			1						
	Applied Hydrology	1後	1				2					
	Advanced Biosystems Engineering	1後	1			1	1					
	Advanced Water Quality Purification	1前	1			1						
	Applied Economics	1後	1				1	1				
Advanced Agricultural Policy	1後	1			1	1						
Advanced Rural Development	1前	1			2							
Advanced Agro-informatics	1前	1			1	1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（アジア展開農学コース専門科目）	Advanced Crop Science	1前	1			1						
	Advanced Horticultural Science	1前	1			1						
	Advanced Plant Breeding	1前	1			1						
	Advanced Bioregulation Chemistry	1後	1			1		1				
	Advanced Plant Protection	1後	1				2					
	Advanced Animal Breeding	1後	1			1		1		1		
	Advanced Animal Nutrition	1前	1				2	1				
	Advanced Animal Management	1後	1			1	1	1				
	Advanced Animal Hygiene	1前	1			1	1	1				
	Advanced Animal Functional Anatomy	1後	1			1						
	Advanced Animal Cell Engineering	1後	1				1					
	Advanced Plant Biochemistry	1後	1			1	1					
	Advanced Microbiology	1後	1			2						
	Advanced Chemical Ecology	1前	1			1						
	Advanced Microbial Ecology	1前	1			1	1					
	Advanced Natural Product Chemistry	1後	1			1						
	Advanced Food Biochemistry	1後	1			2						
	Advanced Food Processing	1前	1			1	1					
	Advanced Food Functionality	1前	1			1						
	Advanced Biochemistry	1前	1				1					
	Advanced Biotechnology	1前	1									兼1
	Advanced Soil and Geotechnical Engineering	1前	1			1					1	
	Applied Hydrology	1後	1				2					
	Advanced Biosystems Engineering	1後	1			1	2					
	Advanced Water Quality Purification	1前	1			1						
	Applied Economics	1後	1				1	1				
Advanced Agricultural Policy	1後	1			1	1						
Advanced Rural Development	1前	1			2							
Advanced Agro-informatics	1前	1			1	1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 (実践農食科学コース専門科目)	動物育種学特論	1前	1		1							
	動物生殖科学特論	1後	1					1				
	動物機能形態学特論	1前	1		1							
	動物生化学特論	1前	1			1						
	動物栄養学特論	1後	1			1						
	動物衛生学特論	1前	1			1						
	動物生体防御学特論	1後	1		1							
	放牧生態学特論	1前	1		1							
	動物福祉管理学特論	1前	1			1						
	動物細胞工学特論	1前	1			1						
	食品微生物利用学特論	1前	1		1							
	遺伝子制御学特論	1後	1		1							
	分子微生物学特論	1前	1		1							
	応用微生物学特論	1前	1		1							
	地圏生態化学特論	1後	1			1						
	微生物生態学特論	1後	1		1							
	遺伝子工学特論	1後	1								兼1	
	生物化学特論	1後	1			1						
	植物分子遺伝学特論	1前	1			1						
	化学生態学特論	1後	1		1							
	天然物化学特論	1前	1		1							
	生物制御化学特論	1前	1			1						
	食品分子機能学特論	1後	1		1							
畜産物科学特論	1後	1		1								
食品生化学特論	1後	1		1								
食品機能工学特論	1後	1								兼1		
食品免疫学特論	1後	1								兼1		
糖鎖工学特論	1後	1								兼1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 (実践農食科学コース専門科目)	動物育種学特論	1前	1		1							
	動物生殖科学特論	1後	1					1				
	動物機能形態学特論	1前	1		1							
	動物生化学特論	1前	1			1						
	動物栄養学特論	1後	1			1						
	動物衛生学特論	1前	1			1						
	動物生体防御学特論	1後	1		1							
	放牧生態学特論	1前	1		1							
	動物福祉管理学特論	1前	1			1						
	動物細胞工学特論	1前	1			1						
	食品微生物利用学特論	1前	1		1							
	遺伝子制御学特論	1後	1		1							
	分子微生物学特論	1前	1		1							
	応用微生物学特論	1後	1		1							
	地圏生態化学特論	1後	1			1						
	微生物生態学特論	1後	1		1							
	遺伝子工学特論	1後	1								兼1	
	生物化学特論	1後	1			1						
	植物分子遺伝学特論	1前	1			1						
	化学生態学特論	1後	1		1							
	天然物化学特論	1前	1		1							
	生物制御化学特論	1前	1			1						
	食品分子機能学特論	1後	1		1							
畜産物科学特論	1後	1		1								
食品生化学特論	1前	1		1								
食品機能工学特論	1後	1								兼1		
食品免疫学特論	1後	1								兼1		
糖鎖工学特論	1後	1								兼1		

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（応用植物科学コース専門科目）	植物病害防除学特論	1後		1			1					兼1
	農薬学特論	1後		1			1					
	応用昆虫学特論	1後		1			1					
	植物感染生理学特論	1前		1								
	総合防除特論	1後		1			1					
	栽培学特論	1後		1			1					
	作物機能形態学特論	1後		1			1					
	園芸学特論	1後		1			1					
	青果物利用学特論	1後		1			1					
	農業生産技術学特論	1前		1			1					
	作物栄養学特論	1前		1			1					
	植物育種学特論	1後		1			1					
	植物生理制御学特論	1後		1			1					兼1
	植物多様性保全学特論	1後		1								兼1
資源植物学特論	1後		1								兼1	
植物化学適応学特論	1後		1								兼1	
専攻科目（地域共生コース専門科目）	農業水利施設学特論	1後		1			1					
	流域管理学特論	1後		1			1					
	水理学特論	1前		1			1					
	応用水理学	1後		1			1					
	土壌物理学特論	1後		1					1			
	地域計画学特論	1後		1			1					
	農地環境工学特論	1前		1			1					
	地域環境工学特論	1後		1								兼1
	環境経済学特論	1前		1			1					
	地域資源管理学	1後		1			1					
	フードシステム学特論	1前		1			1					
	農業史・環境史特論	1後		1			1					
	農政学特論	1前		1			1					兼1
	農産物流通特論	1後		1								兼1
	農業経済学特論	1前		1			1					
	生物生産機械学特論	1前		1			1					
農業地理情報学特論	1後		1			1						
農業気象・情報学特論	1後		1			1						
食料情報学特論	1後		1					1				
水処理工学特論	1後		1			1						
農作業学特論	1後		1			1						
専攻科目	プレゼンテーション演習	2通	1			31	25	2	1			兼8
	特別演習	2通	3			31	25	2	1			兼8
	専攻研究	1・2通	10			31	25	2	1			兼8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（応用植物科学コース専門科目）	植物病害防除学特論	1後		1			1					
	農薬学特論	1後		1							1	
	応用昆虫学特論	1後		1				1				
	植物感染生理学特論	1前		1								兼1
	総合防除特論	1後		1							1	
	栽培学特論	1後		1				1				
	作物機能形態学特論	1後		1			1					兼1
	園芸学特論	1後		1			1					
	青果物利用学特論	1後		1			1				1	
	農業生産技術学特論	1前		1			1					
	作物栄養学特論	1前		1			1			1		
	植物育種学特論	1後		1			1					
	植物生理制御学特論	1後		1			1					
	植物多様性保全学特論	1後		1								兼1
資源植物学特論	1後		1								兼1	
植物化学適応学特論	1後		1								兼1	
専攻科目（地域共生コース専門科目）	農業水利施設学特論	1後		1			1					
	流域管理学特論	1後		1			1					
	水理学特論	1前		1			1					
	応用水理学	1後		1			1					
	土壌物理学特論	1後		1						1		
	地域計画学特論	1後		1			1					
	農地環境工学特論	1前		1			1					
	地域環境工学特論	1後		1							2	
	環境経済学特論	1前		1			1					
	地域資源管理学	1後		1			1					
	フードシステム学特論	1前		1			1				1	
	農業史・環境史特論	1後		1			1					
	農政学特論	1前		1			1					兼1
	農産物流通特論	1後		1							1	
	農業経済学特論	1前		1			1					
	生物生産機械学特論	1前		1			1					
農業地理情報学特論	1後		1			1						
農業気象・情報学特論	1後		1			1						
食料情報学特論	1後		1					1				
水処理工学特論	1後		1			1						
農作業学特論	1後		1			1						
専攻科目	プレゼンテーション演習	2通	1			30	21	2	2			兼7
	特別演習	2通	3			30	21	2	2			兼7
	専攻研究	1・2通	10			30	21	2	2			兼7

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話	1前		2								兼1
	国際コミュニケーション基礎	1前		2								兼1
	実践国際コミュニケーション	1前		2								兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前		1								兼2
	地球環境システム論Ⅱ	1後		1								兼2
	持続社会システム論Ⅰ	1後		1		1						兼3
	持続社会システム論Ⅱ	1前		1								兼2
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1		1	1					兼2
	人間システム基礎論Ⅰ	1後		1								兼4
	人間システム基礎論Ⅱ	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1		3	2					
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1		2						兼1
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
科学と倫理	1前		2								兼1	
原子科学と倫理	1前		1								兼6	
共通科目（研究科共	アジア農業論	1前 1後	1			2	1					
	科学リテラシー	1前 1後	1			5	5					
	英語表現技法	1後	1									兼1
専攻科目（専攻展開科目）	統計学	1前		1		1	1					
	キャパシティ・ディベロップメント論	1後		1								兼1
	農業技術普及論	1後		1		1						
	熱帯農業フィールド実習	1後		1		1	1					兼1
	地域サステナビリティ演習	1後		1		2						兼1
国内フィールド実習	1後		1		2	2						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（アジア展開農学コース専門科目）	Advanced Crop Science	1前		1		1	1					
	Advanced Horticultural Science	1前		1		1						
	Advanced Plant Breeding	1前		1		1						
	Advanced Bioregulation Chemistry	1後		1			1					
	Advanced Plant Protection	1後		1			2					
	Advanced Animal Breeding	1後		1		1		1				
	Advanced Animal Nutrition	1前		1			2					
	Advanced Animal Management	1後		1		1	1					
	Advanced Animal Hygiene	1前		1		1	1					
	Advanced Animal Functional Anatomy	1後		1		1						
	Advanced Animal Cell Engineering	1後		1			1					
	Advanced Plant Biochemistry	1後		1		1	1					
	Advanced Microbiology	1後		1			2					
	Advanced Chemical Ecology	1前		1		1						
	Advanced Microbial Ecology	1前		1		1	1					
	Advanced Natural Product Chemistry	1後		1		1						
	Advanced Food Biochemistry	1後		1			2					
	Advanced Food Processing	1前		1		1	1					
	Advanced Food Functionality	1前		1		1						
	Advanced Biochemistry	1前		1			1					
	Advanced Biotechnology	1前		1								兼1
	Advanced Soil and Geotechnical Engineering	1前		1		1						
	Applied Hydrology	1後		1			2					
	Advanced Biosystems Engineering	1後		1		1	1					
Advanced Water Quality Purification	1前		1		1							
Applied Economics	1後		1			1	1					
Advanced Agricultural Policy	1後		1			1						
Advanced Rural Development	1前		1			2						
Advanced Agro-informatics	1前		1		1	1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 (実践農食科学 コース専門科目)	動物育種学特論	1前		1		1						
	動物生殖科学特論	1後		1				1				
	動物機能形態学特論	1前		1		1						
	動物生化学特論	1前		1			1					
	動物栄養学特論	1後		1			1					
	動物衛生学特論	1前		1			1					
	動物生体防御学特論	1後		1		1						
	放牧生態学特論	1前		1		1						
	動物福祉管理学特論	1前		1			1					
	動物細胞工学特論	1前		1			1					
	食品微生物利用学特論	1前		1		1						
	遺伝子制御学特論	1後		1		1						
	分子微生物学特論	1前		1		1						
	応用微生物学特論	1後		1		1						
	地圏生態化学特論	1後		1			1					
	微生物生態学特論	1後		1		1						
	遺伝子工学特論	1後		1							兼1	
	生物化学特論	1後		1			1					
	植物分子遺伝学特論	1前		1			1					
	化学生態学特論	1後		1		1						
	天然物化学特論	1前		1		1						
	生物制御化学特論	1前		1			1					
	食品分子機能学特論	1後		1		1						
	畜産物科学特論	1後		1		1						
	食品生化学特論	1前		1		1						
	食品機能工学特論	1後		1							兼1	
食品免疫学特論	1後		1							兼1		
糖鎖工学特論	1後		1							兼1		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目（応用植物科学コース専門科目）	植物病害防除学特論	1後		1			1					
	農業学特論	1後		1								兼1
	応用昆虫学特論	1後		1			1					
	植物感染生理学特論	1前		1								兼1
	総合防除特論	1後		1		1						
	栽培学特論	1後		1			1					
	作物機能形態学特論	1後		1		1						
	園芸学特論	1後		1		1						
	青果物利用学特論	1後		1					1			
	農業生産技術学特論	1前		1		1						
	作物栄養学特論	1前		1			1					
	植物育種学特論	1後		1		1						
	植物生理制御学特論	1後		1		1						
	植物多様性保全学特論	1後		1								兼1
資源植物学特論	1後		1								兼1	
植物化学適応学特論	1後		1								兼1	
専攻科目（地域共生コース専門科目）	農業水利施設学特論	1後		1		1						
	流域管理学特論	1後		1		1						
	水理学特論	1前		1			1					
	応用水理学	1後		1			1					
	土壌物理学特論	1後		1					1			
	地域計画学特論	1後		1		1						
	農地環境工学特論	1前		1			1					
	地域環境工学特論	1後		1								兼1
	環境経済学特論	1前		1			1					
	地域資源管理学	1後		1		1						
	フードシステム学特論	1前		1								兼1
	農業史・環境史特論	1後		1		1						
	農政学特論	1後		1			1					
	農産物流通特論	1後		1								兼1
	農業経済学特論	1前		1		1						
	生物生産機械学特論	1前		1			1					
	農業地理情報学特論	1後		1		1						
	農業気象・情報学特論	1後		1			1					
食料情報学特論	1後		1					1				
水処理工学特論	1後		1		1							
農作業学特論	1後		1		1							
専攻科目	プレゼンテーション演習	2通	1			30	24	3	2			兼8
	特別演習	2通	3			30	24	3	2			兼8
	専攻研究	1・2通	10			30	24	3	2			兼8

- (注)・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1)一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員見直しのため「地球環境システム論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため「持続社会システム論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1兼3」に変更。
- ・担当教員見直しのため「持続社会システム論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため「人間システム基礎論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため「食料の安定生産と農学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3准教授2」に変更。
- ・担当教員見直しのため「地域サステイナビリティ農学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2兼1」に変更。
- ・時間割見直しのため「研究と教育一知の往還をめぐって」の配当年次を「1後」から「1前・後」の2回開講に変更。
- ・担当教員退職のため「研究と教育一知の往還をめぐって」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・時間割見直しのため「バイオテクノロジーと社会」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため「バイオテクノロジーと社会」の専任教員等の配置を「教授1兼2」から「兼3」に変更。
- ・時間割見直しのため「原子科学と倫理」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割見直しのため「アジア農業論」の配当年次を「1前」から「1前・後」の2回開講に変更。
- ・担当教員見直しのため「アジア農業論」の専任教員等の配置を「准教授1兼1」から「教授2准教授1」に変更。
- ・時間割見直しのため「科学リテラシー」を「1前」から「1前・後」の2回開講に変更。
- ・担当教員見直しのため「科学リテラシー」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授5准教授5」に変更。
- ・時間割見直しのため「統計学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員昇進のため「農業技術普及論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため「熱帯農業フィールド実習」の専任教員等の配置を「教授1兼1」から「教授1准教授1兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため「地域サステイナビリティ演習」の専任教員等の配置を「教授1兼1」から「教授2兼1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「国内フィールド実習」の専任教員等の配置を「教授1准教授3」から「教授2准教授2」に変更。
- ・申請時の記載誤りによる修正のため「Advanced Bioregulation Chemistry」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・サバティカル休暇のため「Advanced Soil and Geotechnical Engineering」の専任教員等の配置を「教授1助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため「Advanced Agricultural Policy」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割見直しのため「応用微生物学特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割見直しのため「食品生化学特論」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため「農薬学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため「青果物利用学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「農業生産技術学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため「フードシステム学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・時間割見直しのため「農政学特論」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授31准教授25講師2助教1」から「教授30准教授24講師3助教2」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「特別演習」の専任教員等の配置を「教授31准教授25講師2助教1」から「教授30准教授24講師3助教2」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「専攻研究」の専任教員等の配置を「教授31准教授25講師2助教1」から「教授30准教授24講師3助教2」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため「食料の安定生産と農学」の専任教員等の配置を「教授3准教授2」から「教授2准教授3」に変更。
- ・担当教員見直しのため「原子科学と倫理」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・担当教員昇進のため「科学リテラシー」の専任教員等の配置を「教授5准教授5」から「教授6准教授4」に変更。
- ・担当教員採用のため「熱帯農業フィールド実習」の専任教員等の配置を「教授1准教授1兼1」から「教授1准教授2」に変更。
- ・担当教員採用のため「地域サステイナビリティ演習」の専任教員等の配置を「教授2兼1」から「教授2准教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため「Advanced Crop Science」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「Advanced Bioregulation Chemistry」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員採用、退職のため「Advanced Animal Nutrition」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1准教授1」に変更。
- ・サバティカル休暇から復帰のため「Advanced Soil and Geotechnical Engineering」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1助教1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「Advanced Biosystems Engineering」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員採用、退職のため「動物栄養学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「生物制御学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・採用計画変更のため「農薬学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員退職、採用のため「総合防除特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員退職のため「作物機能形態学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため「地域環境工学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員採用により「フードシステム学特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更。
- ・サバティカル休暇から復帰のため「農政学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・採用計画変更のため「農産物流通特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員昇進のため「生物生産機械学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授30准教授24講師3助教2」から「教授30准教授21講師2助教2」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「特別演習」の専任教員等の配置を「教授30准教授24講師3助教2」から「教授30准教授21講師2助教2」に変更。
- ・担当教員の退職、採用、昇進のため「専攻研究」の専任教員等の配置を「教授30准教授24講師3助教2」から「教授30准教授21講師2助教2」に変更。

- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	116 科目	0 科目	122 科目	6 科目 [0]	116 科目 [0]	0 科目 [0]	122 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	土地の売却及び国土調査結果に伴う修正のため(30)			
	校舎敷地	369,215㎡ 370,416㎡	㎡	㎡	369,215㎡ 370,416㎡				
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡				
	小 計	483,470㎡ 484,671㎡	㎡	㎡	483,470㎡ 484,671㎡				
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡				
	合 計	798,594㎡ 799,795㎡	㎡	㎡	798,594㎡ 799,795㎡				
(2) 校 舎	専 用	147,665㎡	0㎡	0㎡	147,665㎡				
	(147,665㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(147,665㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12室	83室	93室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成30年4月 新規教員採用のため(30)			
	農学研究科 農学専攻(M)			57 56	室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体の数 新規購入、購読中止、資料の 整理による増減(30)	
	農学研究科 農学専攻	1,008.82 (282.013) 1,004.74 (281.636) (1,008.826 (282.013)) (1,004.743 (281.636))	16,462 [4,704] 17,334 [5,516] (16,462 [4,704]) (17,334 [5,516])	2,430 [2,429] 2,606 [2,604] (2,430 [2,429]) (2,606 [2,604])	3,123 3,175 (3,123) (3,175)	()	()		
	計	1,008.82 (282.013) 1,004.74 (281.636) (1,008.826 (282.013)) (1,004.743 (281.636))	16,462 [4,704] 17,334 [5,516] (16,462 [4,704]) (17,334 [5,516])	2,430 [2,429] 2,606 [2,604] (2,430 [2,429]) (2,606 [2,604])	3,123 3,175 (3,123) (3,175)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	11,986㎡	997		958,000					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体		
	3,160㎡	テニスコート7面		プール(25m×15m)1基					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学部									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学部									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
IT通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
7 名	5 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
31	25	2	1	59	30	21	2	5	58	30	21	2	5	58
(29)	(23)	(2)	(2)	(56)						[Δ1]	[Δ4]	[0]	[4]	[Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
59	0	0			58	0	0			58	0	0		
(56)	(0)	(0)								[Δ1]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{58}{59} = \boxed{98.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{58} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師		必修	プレゼンテーション演習	①	教員組織、教員分担見直しのため採用取り止め(30)	
			必修	特別演習	①		
			必修	専攻研究	①		
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授		選択	総合防除特論	①	H30.3.31付け退職のため(30)		
			必修	プレゼンテーション演習	①			
			必修	特別演習	①			
			必修	専攻研究	①			
2	教授		選択	食料の安定生産と農学	①	H30.3.31付け退職のため(30)		
			選択	Advanced Crop Science	①			
			選択	作物機能形態学特論	②			
			必修	プレゼンテーション演習	①			
			必修	特別演習	①			
3	准教授		選択	Advanced Animal Nutrition	①	休職のため(30)		
			選択	動物栄養学特論	①			
			必修	プレゼンテーション演習	①			
			必修	特別演習	①			
3	人		必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目
			選択	6 科目	選択	5 科目	選択	1 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	15 科目	計	14 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	6 科目	選択	5 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	18 科目	計	17 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{4}{59} = \boxed{6.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 **該当無し**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修案内修正及び掲示による周知

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当無し

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<農学研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 該当無し

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 総合戦略・IR委員会（平成29年度までは中期計画委員会と戦略・IR委員会、平成30年度に統合）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則、定例会議を月1回開催し、必要に応じて委員会内にワーキンググループを設置し、個別事項に対応している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 中期目標計画、年度計画、認証評価に関する事項 学部及び研究科の教育活動等についての点検・評価に関する事項 学部・研究科の教育・研究の質の向上に関するFDの企画、運営に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生アンケート等各種の調査の分析結果に基づく研修会を開催する。 ・ 教員相互の意見交換による授業改善を実施する。 ・ 各種データに基づく授業の点検評価 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生調査等各種調査結果について、学部、学科、コースレベルで議論するとともに基本認識を共有する。 ・ 授業点検は、学生アンケート結果等のデータをもとに学部で定めた観点で専門科目を点検する。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ほぼ全教員が出席する。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業点検票に基づき、大半の教員が自己点検を実施し何らかの改善を実施している。 ・ 学生調査等の結果により学修成果と生活動向を把握し、関連委員会と共同して履修指導や生活指導に活かしている。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 有 前学期、後学期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に対してはwebによる公開をしている。学生への公開については検討中である。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>入学生の獲得に課題が残ることから、4月及び10月のいずれの時期に入学しても適切な教育を受けられる教育課程を編成するとともに、早期修了制度を導入するなど、定員確保に向けた改善を図っている。また、海外協定校との連携を強化し、ダブルディグリープログラムを履修する学生9人を含む15人（平成29年度入学12名、平成30年度入学3名（内日本人1名））が 英語開講の「アジア展開農学コース」を履修しており、「農業、食料問題をグローバルな視点で解決に導く意欲を持つ学生を育成」する目的は達成できる見込みである。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成30年8月31日 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <p>・自己点検・評価報告書を作成し、大学webサイト上に公開予定（平成30年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・2020年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）による「教育研究の状況」評価を受けるべく学内で検討中</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 30年 9月 1日)</p>

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。